

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 2021・2022年度 理事・監事立候補者 選挙広報

12月7日に公示し、12月28日に締め切りました理事および監事立候補者につきまして
17名の理事立候補がありましたので、立候補者についてお知らせいたします。

	氏名	所属	ひとこと
理事	吉本 雅一	湘南鎌倉 総合病院	2期4年間福利部と2期4年間財務部を担当させていただきました。この4年間は適正な財務会計処理と予算案作成、各種マニュアルの改訂、法人規模に相当な財務システムの見直し準備を進めて参りました。今後も会員の皆さまのために、学術、生涯教育活動を実施支援してだけでなく、神奈川県作業療法士会の強化と円滑な運営を継続していきたいと考えております。会員の皆様の活動を受け、日本作業療法士協会だけでなく関連団体・行政への働きかけの強化や協業も推進して参ります。さらに神奈川県作業療法士会の新入会員と会員間の交流促進、研修会の充実、組織内の管理・運営・財務状況の強化に尽力したいと考えております。さらなる改革を行い、内外にも必要とされる公明正大な組織運営に務めて参ります。今後も神奈川県の作業療法、神奈川県作業療法士会の発展に寄与したいと思っております。
理事	奥原 孝幸	神奈川県 立保健福祉大学	これまで教育部担当理事として、生涯教育制度に関すること、臨床実習指導者講習会に関すること等、一生懸命取り組んできました。微力ではありますが、引き続きこれらに取り組むチャンスをいただきたいと考え、理事に立候補させていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。
理事	野本 義則	東京医療 学院大学	私は神奈川県の精神科病院で臨床に携わり、現在は都内の OT を養成する大学に勤務しております。これまで士会の業務として、副事務局長を4年、広報担当理事を2年務め、現在は神奈川県士会制度対策部担当理事として3期6年務めております。この間、作業療法を取り巻く社会制度に関しての情報発信、福祉用具に関する研修会開催や会員および多職種への支援や啓発を行いました。また災害対策では安否確認システムの構築と令和元年東日本台風時のその運用、大規模災害に会員が見舞われた際の会費減免などの規約作成、県士会執行部の災害時対策マニュアルを行いました。さらに、近年注目を集める自動車運転に関わる OT の支援体制づくりを開始しました。これらをはじめとする様々な活動を、部内のメンバーの協力のもと実施できました。次期も県民と県士会員のために作業療法の普及促進に務め、また教員の立場から未来の作業療法士のためにも尽力したいと考えております。ご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。

理事	玖島 弘規	横浜旭中央総合病院	この度、理事に立候補させていただきました玖島弘規と申します。私は2期4年に渡り理事を務めさせて頂き、新入会員増加に向けた取り組みや県士会表彰などの事業に携わってきました。当士会は若いスタッフから経験豊富な OT まで幅広い年代の方がおり、特に女性会員が多く在籍しています。そのような年代を越えた関わりや女性会員へのサポートなど今後も取り組んでいきたいと考えております。引き続き理事として県士会活動へ参画させて頂けますよう宜しくお願い致します。
理事	佐藤 範明	昭和大学附属烏山病院	私はウェブサイト管理委員会で企画・運営・管理に6年間、地域リハビリテーション部では精神科領域の研修の企画・運営に4年間携わらせて頂き、2019年度からはウェブサイト管理委員会の理事としを2年間務めさせて頂きました。前回任期では県士会サイトの新たなメディア活用の検討や、新コンテンツの作成、新規サーバーの移行等で同職種、一般の方々への情報発信に努めて参りました。未だ、作業療法の情報発信には課題を有していると感じており、理事になるにあたり、改めて作業療法発信、周知、啓蒙の強化に努めて参りたいと考えております。理事運営にあたっては担当部署以外の部・委員会の理事と連携協業を推し進め、広い視野、多面的視点を持ち、同職種、一般の方々に有益かつ健康と幸福の促進に結び付く、作業療法士会の運営に尽力いたします。若輩者ではありますが作業療法の発展のため、また若き作業療法士が県士会活動に興味を持てるよう、魅力ある団体作りにも努めて参りたいです。
理事	神田 崇央	株式会社 Grant	この度、理事に立候補させていただきました神田崇央です。私は2年間規約委員会の担当理事として活動させていただきました。その中で定款、倫理規程、役員選挙規程、休会及び復会規程の一部改訂、大規模災害時會費免除規程、災害対策本部規程、個人情報保護規定の制定、旧個人情報保護規定の廃止を提案させていただき、総会にてご承認いただいております。現在、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で神奈川県作業療法士会の活動も大きく変化しております。上記の経験を活かし、時代に即した活動ができるよう、尽力して参りたいと考えております。ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。
理事	望月 強併	日本鋼管病院	この度、理事に立候補させていただきました、望月強併と申します。日本鋼管病院にて、8年間、臨床現場に従事し、急性期、訪問、療養と幅広い分野を経験してきました。残念ながら、コロナウイルスのため中止となってしまいましたが、第4回臨床作業療法大会では実行委員も務めさせていただきました。今後も神奈川県作業療法士会の発展のために、貢献していきたいと考えています。何卒よろしくお願いいたします。
理事	神保 武則	北里大学病院	今期 広報部理事を務めました。来期も神奈川県 OT 士会の発展を後押しできるよう頑張りたいと思います。

理事	戸塚 香代子	社会福祉法人同愛会 川崎市中央療育センター	私は2019年度より理事となり、学会評議委員会の担当をさせていただきました。私自身は学会で発表・参加することで、日々の臨床や研究を振り返るとともに、最新の知見に触れ、明日から臨床や研究に活かしていくことができる大切な場であると考えている。また OT は特に身体・精神・脳といった複数の側面からヒトを診ていくことが求められていることから、領域を超えて各分野の様々な視点での知見の交流が必要であると考えている。そのような点からも、単一的な研修ではなく、各領域にまたがる学会の意義は重大であると考えている。学会をはじめとする県士会活動を通じて、県内の OT の学術的支援と、県民の皆様に対する健康の増進と、介護・育児などの家族支援を担っていくための一助となれるよう、引き続き理事として活動していきたいと考え、立候補させていただきます。
理事	佐々木 秀一	北里大学病院	この度、理事に立候補いたします北里大学病院の佐々木秀一と申します。これまでの2期4年の間、学術部部長として研究助成事業では、若手の会員が研究に参加し易いように応募要件を一部緩和や、学術誌では、編集部を組織化し、より良い雑誌になるように改革してきました。今後の課題としては、公益法人の実現やエリア化に向けた取り組み、コロナ禍におけるオンライン化の普及などがあります。神奈川県作業療法士会の更なる発展、県士会員の皆様に貢献できる仕事をやっていきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
理事	澤口 勇	訪問看護ステーション レンゲの花	私はこれまで理事を6年務めて参りました。その間の県士会は一般社団法人の設立、WFOT 横浜大会への参画、県内リハ職3団体の設立、県内エリア化への準備など、皆様の活躍がより着実に地域に根付くようにその基盤を作ってきました。そこで感じたことは、より広範囲においてこれまで作業療法に直接関わりない方にも作業療法を知って頂く活動が県士会には必要です。すなわち、公益法人団体への移行です。神奈川県内においては医療系知識を生かした、運転免許センターへの採用や、特別支援学校における自立活動担当、精神科領域では触法患者における社会復帰調整官など、全国に先駆けて作業療法士の職域を広げる活動をされている方がおりますが、まだまだお伝えしきれていない方が多方面においても大勢いらっしゃいます。私自身も精神科での臨床経験を活かし、現在は訪問看護ステーションにおいて精神科専従の地域支援に携わっております。より広範な作業療法の概念を広め、市民や障害者、生活困窮者、高齢者などの健康と福祉を守る皆様のご活躍に少しでもお役に立てればと思ひ、引き続き立候補を決意しました。何卒よろしくお願ひいたします。地域包括システムの構築は2025年が目途になります。我々は、4年後を見据え、すでにスタートを切っております。会員の皆様のお力添えも引き続きよろしくお願ひ致します。
理事	木村 修介	アイ・エル訪問看護ステーション	10年間、理事として、直近の4年間は副会長として務めました。地域の中でこそ OT の真価が求められていると信じ、県民の声を聞くことのできる事業を企画・実施してきました。副会長になってからは、本会の運営が円滑に行われるように、事務、財務の整理を他理事と共に進めてまいりました。10年後、20年後に当会が県民に求められる存在になるように、組織基盤を整え、若者が活動に参加したくなる魅力あふれる県士会に育んでいきたいと思ひます。

理事	大郷 和成	遊びリパークリノア	県士会の活動は10年を超え、理事も2期勤めさせていただきました。災害対策班、地域包括ケアシステム推進委員会、エリア化推進委員会と、常に新しい事業に関わってきました。来年度以降も引き続き県士会活動の推進に尽力したいと思います。
理事	田中 ゆかり	藤沢市保健医療センター(居宅介護支援事業所)	昨今、コロナの影響で士会員の皆さんは、ご自身やご家族の健康に不安を抱きながら、県民の健康を守る為、仕事に従事しなくてはならず、大変な努力と忍耐を強いられている状況と思います。3期6年間、監事として県士会の活動を見守ってきましたが、来期からは、理事として「会員一人ひとりが創っていく県士会」を目指し、活動していきたいと思い、立候補しました。県民も県士会員も一緒に明るい未来に向かって進んでいけるよう、皆さんのお力をお貸し下さい!
理事	遠藤 陵晃	横浜YMCA学院専門学校	このたび、立候補させていただきます遠藤陵晃です。理事としては県士会の地域に関連する事業に関りをもたせて頂き、地域支援事業や難病・小児・精神領域の研修会、普及啓発、県や各専門職団体との連携事業を行ってきました。また、2020年度は、コロナ禍で思うように各事業展開ができない中でありましたが、神奈川県から「住民主体の通いの場」への委託事業を神奈川県作業療法士会で請け、現場責任者として対応させて頂きました。神奈川県はじめとして作業療法士の力を必要とされている所が多くあることが確認できました。引き続き、神奈川県作業療法士会の円滑な事業展開に尽力する所存です。
理事	金山 桂	介護老人保健施設千の風・川崎	理事として2期4年たずさわってきました。改善できたところ、継続中のところ、未着手のところがあります。更に神奈川県士会が皆さんにとって身近で、役に立つ会になるよう精進を重ねていきたいと思っています。よろしく願いいたします。
理事	西川 航平	介護老人保健施設こもれば	2019-2020年度に渡り理事を努めさせて頂きました。コロナ禍という状況の中、県民へ、県士会員へ県士会が寄与できるよう継続して取り組ませて頂きたい。また、県民への介護予防事業での県士会を通しての活動を引き続き行っていきます。

現在、監事2名と理事1名について役員選挙規定に則り、理事会による推薦を行っております。
最終的な決定につきましては、2021年度の総会後にご報告いたします。

選挙管理委員長 池田公平